

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/02/26号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所)Refinitivよりマーケットエッジ作成

地政学リスクの織り込みで高値推移が続く

NY原油先物相場は、1バレル=70ドル台後半で底固く推移する展開になった。中東の地政学リスクの織り込みが続き、2月22日には78.92ドルまで値上がりして1月29日以来の高値を更新している。イスラエルがガザ地区に対して改めて攻勢を強めていること、紅海で武装組織フーシ派の船舶に対する攻撃が続いていることなどが、原油相場を下支えしている。期近限月にプレミアムを加算する形で地合を引き締めている。ただし原油需給がひっ迫化している訳ではないこと、期近限月のプレミアム加算で在庫売却の動きが促されたことで、80ドルの節目には届かなかった。

イスラエルはガザ地区南部で攻勢を強めている。住民が集中するラファへの地上侵攻も計画されており、中東情勢の先行き不透明感の強さが、原油高に直結している。ただし、23日にはイスラエル、米国、カタール、エジプトが改めて休戦協議を行っている。具体的な内容は不明だが、ハマスが譲歩案を示したと伝わっている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（2月16日時点）は、原油が前週比351万バレル増、ガソリンが29万バレル減、石油精製品が401万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

中東情勢の緊迫続くと80ドルも、休戦を巡る動きに要注意

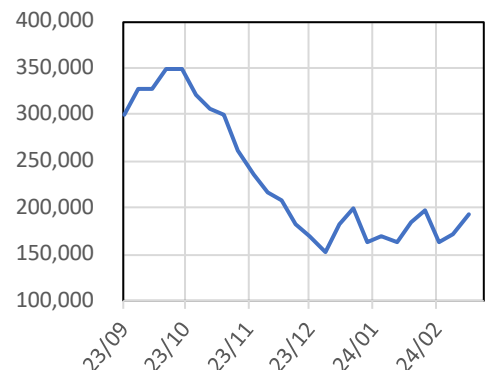
中東情勢に強く依存した相場環境が続く。イスラエルとハマスの激しい戦闘状態が続くと、1月29日の79.29ドルを上抜き、80ドルに迫る可能性がある。一方、休戦が実現する可能性が高まると、70ドル前半まで急反落する可能性がある。このため、中東情勢の変化に対して柔軟な対応が求められるが、3月はイスラム教のラマダン（断食月）を控えていることもあり、短期上振れリスクを警戒しつつも、地合の急変に備える必要性が高まっている。80ドルに迫るような局面があれば、売り妙味が再浮上しよう。

WTI原油先物は2月23日終値で3月限が76.49ドルに対して4月限が76.08ドル、5月限が75.62ドルになっている。期近限月にプレミアムが加算されているが、専ら需給ひっ迫ではなく地政学リスクの高まりを反映した動きとあって、在庫売却の動きが促されている。期先はディスカウントされており、手元在庫を早めに現金化するニーズが強くなっていることはネガティブ。80ドル水準から更に大きく上昇するのは難しいだろう。

米原油在庫は直近の2月16日時点で4週連続の増加となり、昨年12月15日以来の高在庫になっている。ただし、製油所稼働率は前週の86.7%から89.9%まで改善しており、製油所メンテナンスによる原油在庫積み増し圧力に関しては徐々に鈍化する見通しにある。在庫増加が止まると、下落リスクは後退しよう。

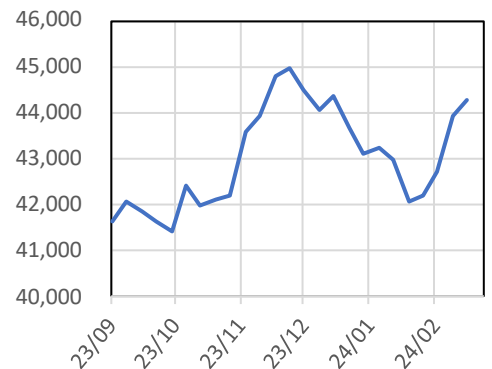
2月29日には1月米PCEデフレーターが発表される。米連邦準備制度理事会（FRB）の関心が高いインフレ指標であり、この数値を受けてドル、株価の動向にも注意が必要。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



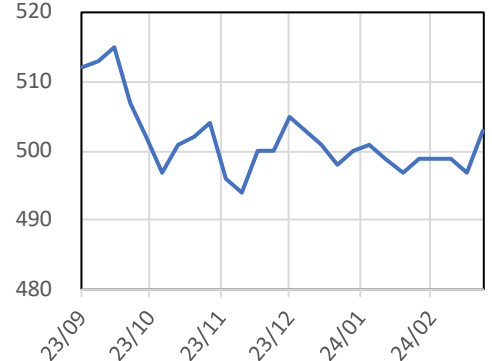
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

